



卒業おめでとうございます。

春の訪れはすぐそこまできています。今の子どもの気持ちは、ワクワク、ドキドキでもちょっと不安…親も子も複雑な気持ちではないかと思えます。義務教育を終え、本人が選んだ進路へ進むのですから、心配しなくて、大丈夫です。中学校の卒業は、ゴールではなくスタートです。それぞれが自分の進むべき道のスタートを見つけたということです。私たち教師は、その子がどんなゴールを目指して、人生を送っていくのかを見守ることが、楽しみです。

輝く未来を応援しています。



「ありがとう」の力

「ありがとう」には力があります。「ありがとう」という言葉は、人間関係の基本で、人に有用感をもたらす素敵な言葉だと思っています。困り感を持っている子どもたちは、自己肯定感が低く、心配な症状を出したり、気になる行動をしたりすることも多く、「自分なんか、何の役にも立たない」「何も取りえがない」と思っています。そのような時「ありがとう」「助かったよ」「うれしいよ」と言われると、すごく嬉しそうにします。「自分の存在は、役に立つんだ」「人を喜ばせることができるんだ」と自己肯定感が高くなっていきます。自己肯定感が高まると、自信がつき、やる気が高まり、大きく羽ばたく翼となるでしょう。

最後にみなさんに「ありがとう」を贈ります。

通級指導教室で一緒に過ごした生徒たちとの時間は楽しく、幸せな時間でした。「ありがとう♡」

○高校の合格を知らせに来てくれて「ありがとう」

○釣りの話はおもしろかった…。「ありがとう」

○古き良きアメリカの車の話、もっと聞きたかった…。「ありがとう」

○学校に行きたくない気持ちを教えてくれて「ありがとう」

○大盛給食を食べることにびっくりさせられた。

だからこんなに身長が伸びるのね、とわかった…。「ありがとう」

○勉強を教えることが、私自身の勉強になった…。「ありがとう」

○できないことを気にするより、得意なことをみつけることが大切だ、と教えてくれて「ありがとう」

○昼休み、通級教室の陽だまりで眠っている姿を見て、頑張っているんだなと感動した。

「ありがとう」

○ノートの整理が上手になって嬉しい。嬉しい気持ちを「ありがとう」

○お腹が痛くなる理由ちゃんとあった。さぼっているわけではない…という本当の気持ちを知れた

「ありがとう」